

## 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 マルチフォトメーター用試薬 PPPPMGNSLR250  
 品番 3-9792-48  
 会社名、部署名 アズワン株式会社品質保証部  
 住所 〒550-8527 大阪市西区江戸堀2-1-27  
 電話番号 06-6447-8614  
 FAX番号 06-6447-8664  
 推奨用途及び使用上の制限 マルチフォトメーターを用いた水質検査

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分1 H314  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 H318  
 生殖毒性 区分1A H360  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(気道) H370

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H314  
 重篤な眼の損傷 H318  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H360  
 気道の障害 H370

## 注意書き

## 安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと P260  
 取扱い後はよく手を洗うこと。 P264  
 適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P280  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P202  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P270

## 応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P301+P330+P331  
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P303+P361+P353, P363  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 P304+P340, P310  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338, P310  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P308+P313

## 保管

施錠して保管すること。 P405

## 廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。 P501

## 3. 組成及び成分情報

## 単一製品・混合物の区別

混合物

|                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 化学名又は一般名          | 水酸化リチウム                         |
| 別名                | リチウムヒドロキシド                      |
| 分子式(分子量)          | LiOH(23.95)                     |
| 化学特性(示性式又は構造式)    | Li <sup>+</sup> OH <sup>-</sup> |
| CAS番号:            | 1310-65-2                       |
| 官報公示整理番号(化審法・安衛法) | (1)-712                         |
| 濃度又は濃度範囲          | 10~30%                          |

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

## 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

## 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

## 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

## 特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生する。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

## 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を拭き取り、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
保管

適切な保護具を着用し、試薬及び測定対象液が眼や皮膚に触れないよう注意する。  
子どもの手の届かない、乾冷暗所に保管すること。  
商品パッケージのまま保管すること。  
直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
酸性雰囲気中には保管しないこと。  
施錠して保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度  
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

未設定

|        | 水酸化リチウム                     |
|--------|-----------------------------|
| 日本産衛学会 | 1mg/m <sup>3</sup> (2009年度) |
| ACGIH  | 未設定 (2009年度)                |

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具  
手の保護具  
眼の保護具  
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。  
適切な保護手袋を着用すること。  
適切な眼の保護具を着用すること。  
適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態  
形状  
色  
臭い

粉末  
白  
データなし。

混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、Pow、動粘性率等のデータなし。

## 10. 安定性及び反応性

安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

保管上の注意に基づく保管においては安定と考えられる。  
データなし  
加熱、燃焼  
強酸化剤、強酸  
燃焼により有毒ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

水酸化リチウムに関して、本物質水溶液のpHが約12 (50°C, 50g/L) (GESTIS (Access on Sep. 2009))と強力なアルカリ性物質であり、腐食性が極めて高く、皮膚が刺激を受けるとの記述(産業衛生学会提案理由書(1995))に基づき、区分1とした。本試薬には30%以下の水酸化リチウムが含まれるため、区分1とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

水酸化リチウムに関して、本物質水溶液のpHが約12 (50°C, 50g/L) (GESTIS (Access on Sep. 2009))と強力なアルカリ性物質であり、腐食性が極めて高く、飛沫や蒸気により眼が刺激を受けるとの記述(産業衛生学会提案理由書(1995))に基づき、区分1とした。本試薬には30%以下の水酸化リチウムが含まれるため、区分1とした。

生殖毒性

水酸化リチウムに関して、本物質のデータはないが、リチウムを治療目的で摂取していた226名の妊婦に25名の先天性奇形を生じた。妊娠の可能性のある女性に対してリチウムは禁忌になっている(ACGIH (2001))。またリチウムは“Chemically Induced Birth Defects”(Birth Defects 3rd.(2000))で催奇形性物質としてあげられており、“Catalog of Teratogenic Agents”(Teratogenic 12th(2007))でもリチウム服用の妊婦において心臓奇形の出産報告が複数あり、ヒトに対する催奇形性が示唆されていることにより区分1Aに分類した。本試薬には30%以下の水酸化リチウムが含まれるため、区分1Aとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

水酸化リチウムに関して、本物質は強力なアルカリ性を有し、腐食性が極めて、高く飛沫や蒸気により上気道および口腔の粘膜を刺激すると述べられている。事実ラットに960 mg/m<sup>3</sup>/4hを吸入ばく露(粉じん)した試験で咽頭や鼻の壊死性の炎症が認められた(産業衛生学会提案理由書(1995))。この影響は、ラットの吸入ばく露LC50値(960 mg/m<sup>3</sup>)およびガイダンス値から判断すると区分1相当であるため区分1(気道)とした。本試薬には30%以下の水酸化リチウムが含まれるため、区分1(気道)とした。

## 12. 環境影響情報

混合物についてのデータはない。個別物質について記す。

水酸化リチウム  
水生環境急性有害性  
水生環境慢性有害性  
オゾン層への有害性

データなし  
データなし  
データなし

## 13. 廃棄上の注意

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制  
国連番号  
国連危険有害性クラス  
容器等級  
国内規制  
海上規制情報  
航空規制情報  
陸上規制情報

3262  
8  
II  
船舶安全法の規定に従う。  
航空法の規定に従う。  
毒劇法及び消防法の規定に従う。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

水酸化リチウム:  
名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)  
名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)  
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

毒物及び劇物取締法

水酸化リチウム: 劇物(政令第2条第1項第68号の2)

## 16. その他の情報

参考文献

各データ毎に記載した。

注) この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。  
本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。